

〔史料紹介〕

『邦訳 日葡辞書』③

M・M・M

—わが国中世の児童文化史研究によせて—

C字で始まる語

(承前)

カタコマニノスル (肩駒に乗する)

人を、両脚を開かせて肩の上に乗せる。

カツケ (かつけ)

乳母、あるいは、幼児を養育する婦人。

カツケ、クル (かつけ、くる)

馴らす、または、飼い馴らす。

カワイガリ、ル、ツタ (かわいがり、る、った)

カワイイから転成した語。不憫に思う、あるいは、いつく

しみ愛する心を抱く。

カハイイ (かはいい)

同情、憐憫の情を催させる (もの)、あるいは、同情の念

を抱く (こと)。

カワラケ (かはらけ)

脾臓の病気などのような子供の病気。

チバナ (茅花)

子どもが食べる白い芯のある、或る種の草。

チブサ (乳房)

婦人の乳房。

(例) チブサヲ フクム (乳房を含む) 乳を飲む、あるいは、口に乳房をくわえる。

(例) チブサヲ フクムル (乳房を含む) 「乳児の」口の中に乳房をさし入れる、あるいは、乳を飲ませる。

チッコ (ちっこ)

(例) チッコト シタル ワランベ (ちっことしたる童部) 「表立たないで」身をひそめてはいるけれども、人となりは快活ではきはきしている子ども。

チチ (父)

父親。

チチハワ (父母)

父と母と。

チチゴ (父親)

父。婦人語。

チチヲヤ (父親)

父親。

チクバ (竹馬)

タケウマ (竹馬) 子どもの使う竹製の馬。

チクビ (乳首)

乳房の先端。

(例) チクビヲ フクムル (乳首を含む) 乳房の先端を人の口の中にさし入れる、すなわち、乳を吸わせる。

(例) チクビヲ フクム、クワユル (乳首を含む、または、銜ゆる) 乳房を口に含む、または、乳を飲む。

チゴ (児)

まだ頭髮を伸ばして「剃らないで」いて、寺院で勉強する子供。

チグチタハ (乳朽ちた歯)

乳のために黒くなった乳飲み子の歯。

チグチテ、チグチタ (乳朽ちて、または、乳朽ちた)

欠如動詞。幼児の歯が乳のために黒くなる。

チイサイ (小さい)

小さい (もの)。

チモ (知母)

ある葉。

チノミチ (血の道)

血が頭に上ることから起こる婦人の病気。

チノミゴ (乳呑児)

乳児。

チラウ (乳癆)

婦人の乳房にできる腫物。

チヲトトイ、チヲトト (乳兄弟、または乳おとと)

乳兄弟。すなわち、乳の上での兄弟。

チヨウシ (長子)

ソウリヤウゴ (惣領子) 長男。

カウ (孝)

父や母に対して、子が従順であること。

コ (子)

子ども。

(例) コヲ モウクル (子を儲くる) 子どもをもつ。

(例) コヲ ナガス (子を流す) 胎内でまだ十分に固まら

ない胎児をおろす [墮胎する]。

(例) コヲ ダク (子を抱く) 子どもを膝に抱く。¹⁾

1) 日西辞書、日仏辞書では、「子どもを首からつるして

胸に抱く」

コアシ (小足)

小さな歩幅。

(例) コアシニ アユム (小足に歩む) 狭い歩幅で歩む。

コバイイ (子早い)

頻繁に、あるいは、造作もなく子を孕んだり産んだりする

(女)。

コビ (こび)

子どもが小石を使ってする勝負事の一つ。

コバウシ (小法師)

小さい坊主、剃髪している子ども。

1) コボウシの誤りであろう。

カウカウ (孝行)

(いつくしみ) 子が親に対して従順なこと。

ココ (ここ)

幼児の糞便 [はば]。

コダネ (子種)

子を産む種。

コドク (孤独)

ミナシゴ、ヒトリミ (孤子、独身) 孤児と、庇護する者も

ないよるべない人。

コドモ (子ども) ↓ ヒトハラ、ボッカ

コウヘイ (こうへい)

子どもでありながら、子どもに相当した以上の知識があり、年齢的にもまかせていることを示すような行状や動作。

(例) コウヘイヲ イフ (こうへいを言ふ) 子どもであり

ながら、その年齢相当の知識以上のことを語る、あるいは、言う。また、ある事を勝手気ままに言う、または、常軌を逸した言い方をする。

コウヘイナ (こうへいな)

右と同じような事を言ったりする (者)。

コウガク (後学)

ノチノ マナビ (後の学び) 将来のための勉強、あるいは、学問。

コガイ (子飼・蚕飼)

鳥や獣などを小さなうちから育てること。また、蚕を飼うこと。

また、比喻。幼児のころから人を養育すること。

コギイタ (胡鬼板)

女の子が、ある堅い木の実を空中に打ち上げて遊ぶのに使う小さな板 (羽子板)。

コキノ コ (胡鬼の子)

子どもが遊びに使うために、鳥の羽根をさし込んだある堅い木の実。

コウイン (勾引)

ヒトカドイ (人かどひ) 人を呼び寄せて、だましたり、さ

らったりして連れて行くこと。

カウジュン (孝順)

孝行の順ひ。子の親に対する、または、弟子の師匠に対する従順。

コマ (独楽)

コマ

コモチ (子持ち)

子どもを育てる女、または、子どものある女。

コノカミ (兄)

兄

コンテイ (昆弟)

兄と弟と。

コッペイ (こっぺい)

コウヘイに同じ。

(例) コッペイナモノ (こっぺいな者) 年齢相当以上の知識をひけらかす者、または、適当な度合をこえて自由気ままな者。

コサクナ (こさくな)

年かざの大人のように振舞う子どもについて言う。

コツボ (子壺)

母の腹の中の、胎児が入っている所。

コワラウ (小童)

人に仕えて、草履取りなどの卑しい役目を勤める年少の子ども。

コウマセ (子生ませ)

助産婦。

カウシ (孝子)

孝行な子。

コシノバウ (小師の坊)

復習して教える人、すなわち、師匠が読んだところや教えたとおころを、相弟子のために繰り返して復習してやる者。

カウヤウ (孝養)

(例) ブモヲ カウヤウ スル (父母を孝養する) 子とし

ての愛情をもって父や母を扶養する。

コユイノエボン (小結ひの烏帽子)

子どもが着用する、烏帽子の一種。

コゾイ (子添)

助産婦。

ククメ、ムル、メタ (衝・咄め、むる、めた)

幼児や小鳥などの口の中に、食物を入れてやって食べさせる。

クジ (くじ)

天然痘。

(例) クジヲ スル (くじをする) 天然痘にかかる。

九州地方の語。ハウサウ (疱疹)、あるいは、モガサ (もがさ) と言う方がまざる。

なお、近畿地方では、民衆はまたオトナ (大人) とも言う。

(例) オトナゴトヲ スル (大人事をする) 天然痘にかか

る。

クウケン (空拳)

(空しい拳) いかにも何かを与えそうな様子に見せかけて、子どもの前にさし出す握りこぶし。

クサ (くさ)

(例) クサラ フルフ (くさを震ふ) 婦人が或る草を使っ

て墮胎する。

クツシャメ (くつしゃめ)

子どもがくしゃみをする事。